新庁舎・（仮称）新福祉会館建設に係る市民説明会（第１回）	日時	平成３１年１月２４日（木） １９：００～２０：４６	場所	前原町西之台会館 集会室Ａ
説明者	西岡市長、高橋庁舎建設等担当課長、前島福祉会館等担当課長			
事務局	企画政策課　渡辺主査、岡崎主任、小林主任 地域福祉課　山口主査			
参加者数	１８人（うち市議会議員４人）			
次第	1　開会 2　市長挨拶 3　これまでの経過と今後の取組みについて 4　基本設計業務委託公募型プロポーザルの実施について 5　質疑応答 6　閉会			

（進行：渡辺主査）

1　開会

2　市長挨拶

西岡市長による開会挨拶を行った。

3　これまでの経過と今後の取組みについて

4　基本設計業務委託公募型プロポーザルの実施について

西岡市長及び高橋庁舎建設等担当課長が各項目について説明を行った。

5　質疑応答

【市民Ａ】　設計者選考に当たっての手続論が主であり、方針等の説明ではなかったように受け止めた。複合化整備方針の内容のほとんどが「基本設計で整理する」等といった記載である。方針というよりもやらなければいけないことを羅列しているだけである。この内容で新庁舎建設がうまく進むのか疑問である。施設内機能や基本コンセプト等は定めているのか。

→　機能、方針等は、新庁舎建設基本計画及び（仮称）新福祉会館建設基本計画で定めている。その上で複合化することを複合化整備方針で定めた。執務環境調査報告書、建設計画調査報告書等は市ホームページに公開の上、委託事業者の募集を行っている。

【市民Ｂ】　どのように施設をつくるかということに説明が終始していて、どのような施設をつくるかの説明がない。市民が期待感を持つような説明を行ってほしい。新庁舎建設基本計画は、平成２５年に策定されており、策定から５年程度経過している。例えば、CO_2排出量は平成２５年度から増加しており、環境に関しても、どのように環境に優しい庁舎にするかの議論が必要である。環境配慮の配点が１５点しかないのは、配分が低いのではないか。ＣＡＳＢＥＥなど環境配慮型のグリーン庁舎をつくってもらえることを第一に基本設計者を選考してほしい。

→　本日資料として配布していないが、基本設計業務委託仕様書（案）の中では、環境に関し、留意すべき事項を定めている。また、ＣＡＳＢＥＥの自己評価を行うことも定めている。

説明会では、時間の関係もあり、全てを説明しきれないため、経過を説明した。新庁舎建設基本計画及び（仮称）新福祉会館建設基本計画を定めており、基本設計段階で建設の在り方、機能連携の在り方等を決定していくこととなる。基本設計は、両計画の理念を具現化する段階であり、９０億円を超える大事業である。市民の皆様には夢を持っていただきたいと考えている。建物だけでなく、広場、駐車場、駐輪場、災害時の利用方法、屋上の活用など、庁舎建設予定地を最大限有効活用できるよう議論を重ねていきたい。

【市民Ｃ】　庁舎建設予定地は、野川への地下水脈がある場所であり、過去に清掃関連施設建設候補地となった際に地下水保全会議では、清掃関連施設建設場所として適切ではないとの結論が出た。地下水脈を切断しないように配慮した設計をしてほしい。施設ができたことにより、野川が枯れることがないよう切に願う。

→　設計の条件に関することは事業候補者選考中のためお答えできないが、小金井市において野川が大切なことは理解している。

【市民Ｃ】　環境を著しく破壊するような工事は行わないということで良いか。

→　良い。

【市民Ｄ】　新庁舎建設基本計画では、「おおむね４階程度で、地下駐車場はつくらない」と定めてあるが、（仮称）新福祉会館と複合化すると方針が変わったために、「おおむね７階で、地下駐車場をつくる」と方針が変わった。計画策定から年数が経過しており、変わった部分と変わらない部分とを委託事業者選考に当たって適切に示す必要がある。

→　新庁舎建設基本計画では、庁舎単体で整備としていたが、（仮称）新福祉会館も庁舎建設予定地に複合施設として整備することとした。駐車場は、「自走式立体駐車場を基本としつつ、

使用頻度や管理面などから地下駐車場、平面駐車場を含め効率的な整備方式の採用を検討する」としており、地下駐車場をつくらないと決めていたわけではない。この間、市報や市民説明会で申し上げており、新庁舎建設基本構想からの資料は調査報告書を含めて全て公開の上、募集を行っている。

新庁舎建設基本計画では、今後の検討事項が多く残っている。実施設計段階で決めるべき事項もあるかもしれないが、基本設計段階で決めるべき事項はしっかり決定する。その中で、基本計画と異なることもあるかもしれないが、年数の経過に合わせて、考え方や従うべき基準等が変わっていることもあるので、時代の要請に合わせて臨機応変に対応したい。

【市民Ｂ】　市議会へＣＡＳＢＥＥのＳランク取得を目指してほしいと言っている。ライフサイクルコストはＳランクの方が低減される。是非Ｓランク取得を目指してほしい。世田谷区は基本計画段階からＳランク取得を目指していた。

→　世田谷区は、基本構想でＳランク取得を目指すとした中で基本設計をしている。本市が基本設計でＳランク取得を目指すとする場合、イニシャルコストの増加が見込まれるが、具体にどの程度コストが上がるのかは不明であり、ライフサイクルコストへの影響も不明である。CO_2排出量削減も重要な視点と考えるが、事業費削減も命題となっている。環境性能については、仕様書（案）に盛り込み、ＣＡＳＢＥＥの自己評価も行っていきたいと考えている。

【市民Ｂ】　実施設計者は基本設計者とは別に再度選考するのか。

→　随意契約の可能性もあるし、再度選考を行う可能性もある。

【市民Ａ】　市民が新施設のコンセプトを理解できるような説明があった方が良い。

→　意見として承る。

【市民Ｅ】　新庁舎の規模 12,000 ㎡とは、本庁舎と第二庁舎を足した程度の規模か。

→　本庁舎、第二庁舎、本町暫定庁舎、文書倉庫等を足すと 10,800 ㎡程度となる。

【市民Ｅ】　（仮称）新福祉会館の規模は、旧福祉会館と比べていかがか。

→　市民の活動場所は、旧福祉会館よりも広く設ける予定である。子育て関連の新たな機能も導入予定であり単純な比較は出来ないが、使いやすい（仮称）新福祉会館を目指している。

【市民Ｅ】　市が旧福祉会館を行政使用しており、利用できない場面があった。（仮称）新福祉会館ではそのようなことがないようにしてほしい。また、広い会議室を少量設けるよりも、狭い会議室を多く設けてほしい。

→　効率的に利用できるよう考えていきたい。レイアウト等は基本設計段階で決定することとなるため、意見として承る。

【市民Ｄ】　コンストラクション・マネジメントの選考はうまくいったのか。

→　選考は、公募型プロポーザル方式によって行った。コンストラクション・マネジメント業務は、現段階では設計者選考業務を主たる業務として行っており、市の支援者として適宜協議を行い、業務を行っている。

本事業はコンストラクション・マネジメントの支援なく実現することは困難だと考えている。公募型プロポーザル選考を行い、技術力、実績を総合的に判断し、明豊ファシリティワークスと契約を締結した。

【市民Ｃ】　選考等委員会の構成を教えてほしい。

→　早稲田大学の卯月教授（建築）、ルーテル学院大学の金子教授（福祉）、明治大学の河上客員研究員（地域防災）、武蔵野大学の水谷教授（建築）、法政大学の宮下教授（建築）、神奈川大学の山家教授（建築）及び小金井市副市長の小泉の７人である。卯月委員及び河上委員は、新庁舎建設基本計画策定時の委員である。金子委員は（仮称）新福祉会館建設基本計画策定時の委員である。

【市民Ｂ】　ユニバーサルデザインに関連し、当事者団体から意見聴取等を行い、必要な設備等について検討を行ってほしい。また、環境団体からも意見聴取等を行ってほしい。ＣＡＳＢＥＥについても専門家に検討してもらった方が良いと考える。

→　高齢者団体、障害者団体等への意見聴取を行う予定である。環境団体への意見聴取を行うということは現在事業候補者の選考中であり、明言できない。

設計レビュー、市民説明会、パブリックコメント等を実施予定であり、皆さんから多くの意見をいただきたい。

【市民Ｆ】　時間軸を区切った中で市民からの意見を聴かないと竣工時期が遅れることとなり、第二庁舎の賃借料へも影響が生じることとなる。もう少し迅速に事業を進めてほしい。

→　早期竣工を目指しているが、市民の理解も欠かせないと考えている。

【市民Ｂ】　この市民説明会の開催結果はどこかで示されるのか。

→　資料、議事録を市ホームページで公開予定である。

―　以上で、閉会　―